



既知の制限

Cloud Volumes ONTAP release notes

NetApp
February 13, 2026

目次

既知の制限	1
すべてのクラウドプロバイダにおけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限事項	1
サポートされない ONTAP 機能です	1
最大同時レプリケーション処理数	2
クラウドプロバイダの Snapshot をバックアップとリカバリの計画に使用しないでください	2
Cloud Volumes ONTAPはリザーブドVMインスタンスとオンデマンド VMインスタンスのみをサポート	2
自動アプリケーションリソース管理ソリューションは使用しないでください	2
ソフトウェアアップデートはNetAppコンソールで完了する必要があります	2
から Cloud Volumes ONTAP 環境を変更することはできません クラウドプロバイダのコンソール	2
ディスクとアグリゲートはコンソールから管理する必要がある	2
SnapManager のライセンスに関する制限	3
サードパーティエージェントおよび拡張機能の制限事項	3
AWSにおけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限事項	3
AWS Outpost の制限事項	3
Flash Cache の制限事項	3
Amazon CloudWatch から誤ったアラームが報告されます	4
Cloud Volumes ONTAP HA ペアでは、ストレージの迅速な使用はサポートされません ギブバック	4
AzureのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項	4
Azure VM拡張機能の使用に関する制限事項	4
HA 構成における Premium SSD v2 ディスクの制限	4
単一のアベイラビリティゾーンにHAを配置する場合の制限事項	5
Flash Cache の制限事項	5
HA展開の制限	5
Google CloudのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項	5
パケットミラーリングの制限	5
Google Private Service Connect の制限	5

既知の制限

すべてのクラウドプロバイダにおけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限事項

既知の制限事項は、このリリースの製品でサポートされていないプラットフォーム、デバイス、機能、または製品と正しく相互運用できない機能を特定します。これらの制限事項を慎重に確認してください

すべてのクラウドプロバイダの Cloud Volumes ONTAP に、AWS、Azure、Google Cloud の制限が適用されます。

サポートされない **ONTAP** 機能です

Cloud Volumes ONTAP では、次の機能はサポートされていません。

- アグリゲートレベルのインライン重複排除
- アグリゲートレベルのバックグラウンド重複排除
- ディスクメンテナンスセンター
- ディスク完全消去
- FabricPool ミラーリング
- Fibre Channel（FC；ファイバチャネル）
- Flash Pool の機能です
- Infinite Volume
- インターフェイスグループ
- ノード内の LIF のフェイルオーバー
- MetroCluster
- 管理者による検証が複数必要です

Cloud Volumes ONTAP でマルチ管理者検証を有効にすると、構成がサポートされなくなります。

- RAID 4、RAID-DP、RAID-TEC（RAID 0 のサポート）
- サービスプロセッサ
- SnapLock のコンプライアンスモードとエンタープライズモード（クラウドの WORM のみサポート）
- SnapMirror Synchronous
- VLAN
- SMB 継続的な可用性 (CA)

"継続的可用性を備えたSMB共有"中断のない運用はサポートされていません。

最大同時レプリケーション処理数

Cloud Volumes ONTAP で同時に実行できる SnapMirror 転送または SnapVault 転送の最大数は、インスタンスのタイプやマシンのタイプに関係なく、ノードあたり 100 です。

クラウドプロバイダの **Snapshot** をバックアップとリカバリの計画に使用しないでください

クラウドプロバイダのスナップショットは、Cloud Volumes ONTAP データのバックアップとリカバリの計画には使用しないでください。Cloud Volumes ONTAP でホストされているデータのバックアップとリストアには、必ず ONTAP の Snapshot コピーや他社製のバックアップソリューションを使用してください。

["NetApp Backup and Recoveryを使用してONTAPデータをバックアップおよび復元する方法を学びます"](#)。



データの整合性は、WAFL ファイルシステムの ONTAP 整合ポイントによって決まります。WAFL ファイルシステムを休止して crash-consistent バックアップを実行できるのは、ONTAP のみです。

Cloud Volumes ONTAPはリザーブド**VM**インスタンスとオンデマンド**VM**インスタンスのみをサポート

Cloud Volumes ONTAP は、クラウドプロバイダから予約済みまたはオンデマンドの VM インスタンスのいずれかで実行できます。それ以外のタイプの VM インスタンスはサポートされません。

自動アプリケーションリソース管理ソリューションは使用しないでください

アプリケーションリソースの自動管理ソリューションでは、Cloud Volumes ONTAP システムを管理しないでください。サポートされていない構成に変更される可能性があります。たとえば、このソリューションでは、Cloud Volumes ONTAP をサポート対象外の VM インスタンスタイプに変更する場合があります。

ソフトウェアアップデートは**NetApp**コンソールで完了する必要があります

Cloud Volumes ONTAPのアップグレードは、NetAppコンソールから完了する必要があります。System Manager または CLI を使用してCloud Volumes ONTAP をアップグレードしないでください。システムの安定性に影響を与える可能性があります。

から **Cloud Volumes ONTAP** 環境を変更することはできません クラウドプロバイダのコンソール

クラウド プロバイダーのコンソールからCloud Volumes ONTAP構成を変更すると、サポートされていない構成になります。コンソールが作成および管理するCloud Volumes ONTAPリソースに変更を加えると、システムの安定性と、コンソールがシステムを管理する能力に影響する可能性があります。



初期導入後は、Cloud Volumes ONTAPリソースに使用するAzureサブスクリプション名の変更がサポートされます。

ディスクとアグリゲートはコンソールから管理する必要がある

すべてのディスクとアグリゲートは、コンソールから直接作成および削除する必要があります。これらのアク

ションを別の管理ツールから実行しないでください。そうすると、システムの安定性に影響が及び、将来的にディスクを追加する能力が妨げられ、クラウド プロバイダーの料金が重複して発生する可能性があります。

SnapManager のライセンスに関する制限

SnapManager のサーバ単位のライセンスは、Cloud Volumes ONTAP でサポートされます。ストレージシステム（SnapManager スイート）単位のライセンスはサポートされません。

サードパーティエージェントおよび拡張機能の制限事項

サードパーティのエージェントおよびVM拡張機能は、Cloud Volumes ONTAP仮想マシンインスタンスではサポートされていません。

AWSにおけるCloud Volumes ONTAPの既知の制限事項

以下に記載する制限は、Amazon Web Services の Cloud Volumes ONTAP に固有のもので、また、必ず確認してください ["すべてのクラウドプロバイダでの Cloud Volumes ONTAP の制限"](#)。

AWS Outpost の制限事項

AWS Outpost がある場合は、デプロイ中に Outpost VPC を選択することで、その Outpost にCloud Volumes ONTAP をデプロイできます。エクスペリエンスは、AWS にある他の VPC と同じです。最初に AWS Outpost にコンソールエージェントをデプロイする必要があることに注意してください。

指摘すべき制限事項はいくつかあります。

- でサポートされるのはシングルノードの Cloud Volumes ONTAP システムのみです 今回は
- Cloud Volumes で使用できる EC2 インスタンス ONTAP は、Outpost で利用できる機能に限定されています
- 現時点では、汎用 SSD（gp2）のみがサポートされます

Flash Cache の制限事項

C5D および R5D インスタンスタイプには、Cloud Volumes ONTAP が _Flash Cache _ として使用するローカル NVMe ストレージが含まれます。次の制限事項に注意してください。

- Cloud Volumes ONTAP 9.12.0までのFlash Cacheのパフォーマンス向上を利用するには、すべてのボリュームで圧縮を無効にする必要があります。Cloud Volumes ONTAP 9.12.1を導入またはアップグレードする場合、圧縮を無効にする必要はありません。

NetAppコンソールからボリュームを作成するときにストレージ効率を選択しないことも、ボリュームを作成してから ["CLI を使用してデータ圧縮を無効にします"](#)。

- 再起動後のキャッシュの再ウォームアップは、Cloud Volumes ONTAP ではサポートされていません。

Amazon CloudWatch から誤ったアラームが報告されます

Cloud Volumes ONTAP はアイドル時に CPU を解放しません ["Amazon CloudWatch"](#) では、使用率が 100% になっていることが検出されたため、EC2 インスタンスについて CPU 使用率の上昇を警告できます。このアラームは無視してかまいません。ONTAP statistics コマンドを実行すると、CPU の実際の使用状況が表示されます。

Cloud Volumes ONTAP HA ペアでは、ストレージの迅速な使用はサポートされません ギブバック

ノードがリブートしたら、ストレージを戻す前に、パートナーがデータを同期する必要があります。データの再同期にかかる時間は、ノードが停止している間にクライアントが書き込んだデータの量、およびギブバックの実行中のデータの書き込み速度によって異なります。

["Cloud Volumes ONTAP HA でのストレージの仕組みをご確認ください AWS で実行されているペア"](#)。

AzureのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項

以下に示す既知の制限事項は、Microsoft Azure の Cloud Volumes ONTAP に固有のもので、また、必ず確認してください ["すべてのクラウドプロバイダでの Cloud Volumes ONTAP の制限"](#)。

Azure VM拡張機能の使用に関する制限事項

Cloud Volumes ONTAP は、NetAppコンソールの管理操作に影響するため、Azure 仮想マシン (VM) 拡張機能をサポートしていません。デプロイ中、コンソールは VM への拡張機能のインストールを防止します。既存の Cloud Volumes ONTAP VM に拡張機能がすでにインストールされている場合は、Microsoft Azure サポートに連絡して削除してください。ガイダンスについては、ナレッジベース (KB) の記事を参照してください。 ["Azure VM Management Extensions を Cloud Volume ONTAPにインストールできますか?"](#)

2025 年 7 月 14 日以降、Cloud Volumes ONTAP VM で VM 拡張機能が検出されると、NetApp電子メールが送信され、コンソールで通知されます。

HA 構成における Premium SSD v2 ディスクの制限

Premium SSD v2 マネージド ディスクには、Azure での高可用性 (HA) 展開に関して次の制限があります。

- 非ゾーン リージョンでの HA 展開ではサポートされません。
- 複数の可用性ゾーンにわたる HA 展開ではサポートされません。
- 単一の可用性ゾーン内にデプロイされた HA 構成でのみサポートされます。

Cloud Volumes ONTAP HA 構成で Premium SSD v2 マネージド ディスクを使用するには、次の要件が満たされていることを確認してください。

- Cloud Volumes ONTAPバージョンは 9.15.1 以降です。
- HA 展開は、Azure の単一の可用性ゾーンにあります。
- 選択したリージョンとゾーンでは、Premium SSD v2 マネージド ディスクがサポートされています。サポートされている地域については、 ["Microsoft Azure Web サイト: 地域別に利用可能な製品"](#)。

```
https://docs.netapp.com/us-en/cloud-volumes-ontap-9151-  
relnotes/reference-new.html#support-for-premium-ssd-v2-managed-disks-in-  
azure["Azure での Premium SSD v2 マネージド ディスクのサポート"]。
```

単一のアベイラビリティゾーンにHAを配置する場合の制限事項

Cloud Volumes ONTAP 9.15.1 以降では、Azure の単一の可用性ゾーン (AZ) に HA モードで仮想マシン (VM) インスタンスをデプロイできます。この機能をサポートする基準については、以下を参照してください。
["Azureの単一のアベイラビリティゾーンにHAペアを導入"](#)。

Cloud Volumes ONTAPのバージョンが9.15.1より前の場合、またはいずれかの条件が満たされていない場合は、可用性セットを利用する以前の導入モデルが有効になります。これはHA構成にのみ該当します。

Flash Cache の制限事項

Cloud Volumes ONTAPでは、一部のVMタイプで_Flash Cache_としてローカルのNVMeストレージが使用されます。この制限事項に注意してください。

- ・ リブート後のキャッシュの再ウォームアップはサポートされていません。

HA展開の制限

一部のリージョンでは HA ペアはサポートされていません。

["サポートされている Azure リージョンのリストを表示します"](#)です。

Google CloudのCloud Volumes ONTAPに関する既知の制限事項

次の既知の制限事項は、Google Cloud Platform の Cloud Volumes ONTAP に固有です。また、必ず確認してください ["すべてのクラウドプロバイダでの Cloud Volumes ONTAP の制限"](#)。

パケットミラーリングの制限

["パケットミラーリング"](#) Cloud Volumes ONTAP を導入する Google Cloud VPC で無効にする必要があります。

パケットミラーリングがイネーブルの場合、Cloud Volumes ONTAP は正常に動作しません。

Google Private Service Connect の制限

レバレッジをかけると ["Google Private Service Connect の略"](#)Cloud Volumes ONTAPを導入するVPC内で、必要な宛先にトラフィックを転送するDNSレコードを実装する必要があります。 ["APIエンドポイント"](#)。

Cloud Volumes ONTAP から Google Cloud Storage バケットへのデータの階層化は、現在プライベートサービス接続ではサポートされていません。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。